

令和4年5月23日

芦屋市企画部市民参画・協働推進室
室長 川口 弥良 様

(あしや市民活動センター指定管理者)
特定非営利活動法人あしやNPOセンター
事務局長 橋野 浩美

ソーシャルナイト～夜の社会貢献勉強会 V o l . 9 事業報告書

- 1 実施日：5月20日（金）18：30～20：00
- 2 担 当：二宮 毅行
- 3 参加者：13名（会場参加4名、オンライン参加8名、ゲストスピーカー1名）
- 4 ゲストスピーカー：花田 義勝 氏
(有限会社花田設計事務所、株式会社D×R 代表取締役)
- 5 目 的：「デジタル技術で創る教育の未来と可能性」をテーマに、空間をデジタル化する最新の技術 VR を次世代のデジタル教材として活用する可能性を参加者と共に学ぶ。
- 6 内 容：ゲストスピーカーの花田さんから制作した VR を観ながら解説。
進行役からの質問、参加者から質疑応答。
- 7 アンケート内容（8件の回答を記載）
 - ・とても役立った…6件、少し役立った…2件
(コメント)
 - ・自分が全く触れない世界だったので、こうして新しい情報に触れられることは楽しかったです。トレンドは即実行が肝心だなあ、と思わされました。腰の重い慎重な性格なので、身軽になれるようトライアンドエラーの精神でチャレンジしていきたいと思います！
 - ・VR と教育、今教育現場がどうなっているのか知りたかったのでとても興味深かったです。
 - ・たくさんの興味が詰まっていました。自分のしたいことの世界も膨らみました。ありがとうございました。
 - ・VR システムについて詳しく教えて頂き、勉強になりました。ただ、VR 以外の話が長かった。
- 8 振り返り
 - ・デジタル教材への取組みのきっかけは、コロナ禍における学校のリモート授業の内容にもう一工夫があればいいのにと考えたことであり、その対応の早さが大事だと思った。
 - ・ゲストスピーカーの最新の VR 技術を実際に見て、デジタル技術の進歩を体験することができた。世界的に遅れている日本のデジタル技術を推進させるためには

国を挙げての人材不足の解消施策が必要であるという話が印象に残った。

- 街の VR データとメタバースを組合せて、デジタル空間上で街を作る可能性について期待を感じた。

以上

